



椎の木

令和7年度10月号

朝霞市立朝霞第八小学校

〒351-0012 朝霞市栄町5-1-41

TEL:048-465-8381

校長 岩崎 英雄

【目指す学校像】教育は子供の未来づくり ～児童に未来を生き抜く力の基礎を育てる学校～

生活と時間

「暑さ寒さも彼岸まで」と申しますが、ようやく「秋」を感じられる日も増えてきました。ですが、この9月も暑い暑い毎日が続きました。更には豪雨や激しい雷も含めて「異常気象」と言われることが多くありましたが、これからは、この気候が「異常」ではなく「通常」になるのではないかと感じています。2学期が始まって1ヶ月、家庭科の応援や読み聞かせ等、保護者や地域の皆様には大変お世話になりました。今年の運動会は10月11日（土）の開催となります。練習も本格的になってきましたので、楽しみにしていただければと思います。



「風になりたい」を爽やかに歌った5年生

さて、話は変わりますが、八小の9月10月の生活目標は「時計を見て行動しよう」です。以前新聞で「時計」についての記事を読みました。今でこそ、日本人が時間を守ることや公共交通などの時間の正確さは、世界からも認められています。しかし、それは近代になってからのことで、幕末に来日したオランダ人の著書の中で「日本人の悠長さと言っ

たら呆れるくらいだ。」と嘆いていたようです。その時代の日本は、昼と夜の時間の長さをそれぞれ分割し、一刻と呼ぶ「不定時法」でしたが、明治になり欧米文明に追いつくため、現在の「定時法」を導入し1日24時間となったそうです。初めのうちは、多くの人々が戸惑ったようですが、鉄道の発達によって、乗り遅れないようにと時間を守る習慣がつき始めたとのことです。第二次大戦後、国内の時計メーカーが発展し、精度も高まったことで、腕時計も当たり前の中になりました。そして、現在では、スマートフォンの普及により、それと連動させ体調管理などのさまざまな機能を有する「スマートウォッチ」が主役となり、時計も日々進化しています。

私たちは、時計のおかげで社会生活の営みが成り立っています。そして、なくてはならない道具の1つとして欠かせないものとなっています。学校にも、教室や校内に時計があり、チャイムも鳴ります。それは、「時間割」が決ま



ピッピーさんや八枚の羽根の皆さんによる、朝の読み聞かせ活動

っていないからです。八小では、1時間目と2時間目の間や3時間目と4時間目の間はチャイムが鳴りません。もちろん、先生から授業の終わりや開始の指示はありますが、時計を見て行動しなければいけない場面も多くあります。子供たちには、これからの学校生活や社会の中で、時間を守ることの大切さだけでなく、時間を有効にどう使うかを学習やさまざまな活動の中で育んでもらいたいと思っています。



学校運営協議会の鈴木さんと一緒に
2年生がじゃがいもの種芋を植えました